

お正月招待状

R 8. 1 No134



今年も 4 6 P 9

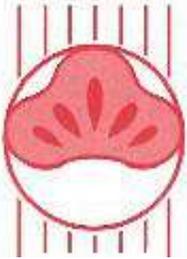
皆様、明けましておめでとうございます。徳永剛です。昨年末のDM。そう12月号。間違つて12月にまた11月号のDMを送ってしまったとです(ひえ〜)。よつて今回は1月号のDMと12月号のDMをも勝手ながら2回分送らせてもらつてるのであります。はい。本年もボケかますと思ひますが、あたたかい目で、そう子犬を見る様な目で(クンクン)、子猫をナデナデする様な気持ちで(ゴロゴロ)いて頂けると幸いなのであります。また今年も非常にお世話になるハズなのでソコトコ、どうぞ宜しくお頼み申し上げますのでそうろう。

では今年も弊社のスローガンを考えてみたいのであります。昨年は「お客様を幸せにする自信なんてありません。でも、弊社が幸せになるお手伝いをする自信はあります」を合言葉に頑張つたのだ。今思うと「変なスローガン」と私も思うのだが、でもでも「割と達成出来たのでは」と自負しているのであります。はい。

今年のテーマは昨年の漢字の「熊」。そうクマにはいろいろ考えさせられるのです。東北の方々がたくさん熊被害に遭われてるのだ。家から出たら庭先でクマに遭遇。そしておじいさんがクマに襲われ大ケガをする。大変なのだ。そこでこんな会話がされたとか、されなかったとか。「たまげたな〜。直ぐにクマ(キマ)をば退治せぬば。ワナを仕掛(すか)げよ！」(んだ!)「あんや〜、学校さクマ(キマ)が出たってば!子供らさケガすつたらどうすつべ。狩猟だ、今こそマタギの出番ずら〜」(マタギずら〜!)「いんや、県警の出番だつべ。警察官さライフルをば持たすだ」(んだすだ!)「いんやいんや、国(キニ)が頑張らねば!そんたら国家の威信にかけて〜自衛隊さ出動すつべ〜!」(んだ、そうすつべ!)「ナパーム弾で〜山ごと焼きつきすずら〜」(イエッサ〜ずら〜!)そう、被害に逢われた方々や現地の人達は当然クマはいなくなつて欲しいのだ。

しかし腹をすかせたクマにしてみたら、「里には柿がタワフになつてるぞナモシ。よう〜。食べちゃブ〜」背に腹は代えられないのだ。「こんな所にニワトリも。うひひひひ。食べちゃガオ〜」簡単にエサが手に入るのだ。「家にはたくさんの初めて食べる旨い物が。マイウ〜!明日も来よおっブ〜!」つてな具合でクマが頻繁に出没するのでしょう。アメリカではクマに餌をあげた人はかなりの罰金刑に処されるらしい。後に必ず駆除する事になるからなのだ。餌付けされたクマは人を恐れなくなり、一度口にした美味しい味は忘れられない。のでまたやつて来る。そして畑を家を荒らし、家畜を襲い、人をも襲つてしまう。一度おいしい思いをしたクマはもう後戻り出来ないのです。そして仕方なくライフルの引き金を引かざるを得ないのだ。

クマ目線の日本昔話の歌。「クマの子見ていたかくれんぼ♪・・・いいないいな♪人間つていいな♪おいしいオヤツに♪ホカホカご飯♪・・・いいないいな♪人間つていいな♪みんな仲良くポカポカお風呂♪あつたかい布団で眠るんだろな♪」人は恵まれてるのだ。地球は本来、動物も含め、皆の物では?クマからしたら人は「自分の物」つて習近平国家主席みたく身勝手に言つてるだけ。「この里は古来から我が領土」つて。しかし我々からしたら苦勞して手に入れた土地。そして人をも襲うにつつきクマ。熊被害に合われた人の気持ちも分かるし、はたまたクマの言い分も分かるのです。よつて今年のスローガンは「人類みな兄弟。それとクマちゃんの事もみなで考えよう」だ。今年もみなさんとクマにとつて良い年でありますように。今年もヨロピクです。



2026